

平成24年12月25日
社団法人日本年金数理人会
社団法人日本アクチュアリー会

「退職給付会計に関する数理実務基準」及び
「退職給付会計に関する数理実務ガイダンス」の公表

社団法人日本年金数理人会と社団法人日本アクチュアリー会（以下、あわせて「两会」）は、合同で、企業会計基準委員会から平成24年5月17日に公表された「退職給付に関する会計基準」及び「退職給付に関する会計基準の適用指針」（以下あわせて、「会計基準等」という。）の内容に沿う数理実務のあり方について検討を行ってまいりました。

今般、两会の理事会において、「退職給付会計に関する数理実務基準」及び「退職給付会計に関する数理実務ガイダンス」（以下、あわせて「数理実務基準等」）が承認されましたので、本日ここに公表いたします。

数理実務基準等は、「退職給付会計に係る実務基準」（平成11年9月2日制定、平成20年12月19日最終改定）の全文を改定するものです。このような大幅な改定を行う理由は、今般公表された会計基準等が、国際財務報告基準（IFRSs）とのコンバージェンスを意図したものであり、対象が広範囲にわたること、及び、会員が遵守すべき基準と参考になる実務を説明する教育的資料であるガイダンスとの区別を分かり易くすることにしたためです。

数理実務基準等は、平成24年9月25日に案を公表し11月30日までコメント募集を行った後、提出されたコメントの内容を検討し、公表した案を修正した上で作成したものです。

以上